

やまね
広報



豊間根中学校で卒業式
希望を胸に新たな巣立ち

3月15日、豊間根中学校（畠山美千校長）で平成19年度の卒業式が行われました。式では畠山校長から30人の卒業生一人一人に卒業証書が手渡され、卒業生を代表して卯名根口東君が「この先どんな困難に出会っても中学校で培ってきたことを糧として、必ず乗り越えていくことを誓います」と力強く答辞を述べました。卒業生たちはたくさんの思い出が詰まった校舎に別れを告げ、この春から希望を胸にそれぞれの進路へと巣立っていきます。

No.
912

4月1日号
2008

今号の主な内容

施政方針の内容	2~7
平成20年度予算の中身	8~9
みんなのスペース	10~11
町のわだい	12~13

CONTENTS

厳しい時代に希望を持って前進 町政推進に全力尽くすことと誓う

平成20年第1回山田町議会定例会が2月18日から3月7日まで開かれ、20年度の一般会計予算などが原案どおり可決されました。初日には沼崎喜一町長が第8次山田町総合発展計画の6つの柱を基本に、本年度の基本方針を述べました。今号では、施政方針の内容と20年度予算の中身の一部をご紹介します。(9頁まで)

平成20年第1回山田町議会定例会が開催されるに当たり、20年度の町政運営の基本的な考え方ならびに主要な施策について申し述べます。

本年度は、第8次山田町総合発展計画・前期基本計画の中間年次であります。町民と行政との協働によって元氣のある暮らしやすい山田をつくり育てていくため「自主・自律・協働」のまちづくりを基本理念として「みんなが創るひとと産業が元氣なまち山田」を目標に引き続き努力してまいります。

20年度の予算は地方交付税の減少傾向に歯止めがかかり微増する見通しですが、堅実な財政運営のため①歳出を前年度以下に抑制する②財政計画と整合する第8次総合発展計画については必要な財源の確保を図る③町債借入額はプライマリーバランスの均衡に努める――など限られた財源の効率的な運用と的確な予算配分、経常経費の圧縮・節減による財源不足額の縮小を基本方針に編成しました。

以下、第8次山田町総合発展計画に掲げる領域に従い、20年度の施策について述べてまいります。



地域の特性を生かした産業振興で元氣創造をめざすまち

産業活性化へ協議会を設立

平成19年度に各漁業協同組合が策定する地域営漁計画は、漁場の効率的な利用、担い手の育成確保などについて具体的に取組むこととなっています。消費者への直接販売など新たな販路拡大を推進するため、漁協ホームページの開設などIT時代に対応した取り組みを支援します。また、山田魚市場の活性化を図るため、山田魚市場外来漁船誘致協議会の活動を引き続き支援してまいります。

体制の強化を図るため、山田漁業協同組合連合会の魚市場用計量器、鮮度保持タンク40基の整備を支援します。また、大沢漁業協同組合の漁業系廃棄物堆肥化処理施設や織笠漁業協同組合などが行うカキ殻破砕事業については、安定的な出荷と販売を支援してまいります。

農林業については、いわて希望農業担い手応援事業により、リンドウ苗の購入や栽培用資材、ほうれん草などの簡易パイプハウスや生産管理機械の整備を支援します。全国的に評価の高い乾しいたけ生産を推進するため、椎茸生産組合が実施するほだ木造成、散水施設、乾燥施設の整備を支援します。また、森林の荒廃を抑止するため、森林整備地域活動支援交付金事業で間伐の森林施業を推進します。



商工観光業の振興については、境田地区や大沢地区に大手チェーン店の出店が進められるなど、地元商店の経営は、年々厳しい状況におかれています。ことから、

商工会が取り組む経営改善普及事業、地域総合振興事業を含む事業運営を支援してまいります。

山田の魅力発信実行委員会が行う同業の活動は、カキまつりやオランダ島まつり、秋祭りなど町の魅力を広く町外に発信し、本町のPRや観光客の誘致に大きな役割を果たしており、引き続き支援してまいります。また「マリン・ツーリズム山田」とタイアップし、優れた自然環境と地域資源を有効に活用した体験型観光を推進します。

雇用環境は依然として厳しい状況が続いていますが、宮古公

共職業安定所と連携し、高校生の企業訪問や雇用結び付く職業訓練の機会を拡充し、就労に向けた雇用情報の提供に努めます。また、町中小企業融資制度や企業誘致優遇措置制度のPRや利用を促進し、優良企業の誘致を進めて雇用の場の拡大に成一層努力します。

町を取り巻く産業構造の現状や課題などについて産業分野を超えて共有し、新たな産業振興策を模索するため「山田町産業活性化推進協議会(仮称)」を立ち上げ、産業を基盤とした地域活性化策を検討してまいります。

長林大浦線は本年度完成目指す

環境にやさしい快適な生活基盤の整備で元氣創造をめざすまち

町道沢田関谷線とJR交差点部ガード下道路については、県の関口川改修工事の計画により、新たに河川敷内道路として整備することとなります。関谷・関口地区から県立山田病院へ救急車両が通行できるよう協議を進め、工事の実現に向けて県に積極的に働きかけます。

国道45号豊間根新田橋付近の交差点改良事業は本年度より着手が予定されており、国道45号北浜地区の歩道整備事業は昨年

12月に地権者への計画説明会が行われました。今後も三陸国道事務所と連携をとりながら、事業実施に努力してまいります。

県道については、県都盛岡に通じる最短ルートとして重要な路線である宮古山田線の豊間根地区の早急な整備、主要地方道重茂半島線の改良などを引き続き県に要望します。

町道細浦柳沢線については、県代行事業として実施されるよう県知事に直接現地を案内し要

望していません。採択は厳しい状況ですが、今後も粘り強く県に要望してまいります。

柳沢北浜地区土地区画整理事業は、本年度分は区画道路の5路線、延長521メートルと宅地整理工事1万920平方メートル、建物14戸の移転を進めます。

下水道整備については、引き続き長崎、川向、中央、八幡、後楽、北浜地区に管渠を布設します。また、下水道集合処理区域外では合併処理浄化槽の設置を進めていきます。

大規模地震への備えとして木造住宅の耐震診断助成事業を継続し、新たに耐震改修等助成事業を実施します。また、公営住宅では住宅用火災警報器を計画的に設置し、北浜団地は本年度解体する予定です。

橋梁補修事業では嶋田橋の補修を実施し、長林大浦線局部分



整備が進む町道長林大浦線

聞かせ事業で絵本などをプレゼントし事業の充実に努めます。子供を安心して生み育てることができる地域社会を構築するため、山田南小学校と関口児童館、轟木児童館の放課後児童クラブで親が就労する家庭での子育てを支援します。このほか、要保護児童対策地域協議会や宮古児童相談所と連携し、児童の虐待防止および相談体制の充実に努めます。

一人暮らしおよび高齢者のみの世帯が増加する中で、高齢者や障害者などの日常の安否確認のため「見守りネットワーク」事業を推進するとともに、高齢者を対象にした認知症予防教室や転倒予防教室を実施します。また、認知症や知的障害などで判断能力が十分でない方を支援するため、成年後見制度の利用とその普及・啓発に努めます。

介護サービス基盤の充実にについては、地域包括支援センターを核とした予防給付、地域支援事業などの介護予防を進めながら住み慣れた地域での生活が継続できるように、小規模多機能型居宅介護サービスなどの地域密着型サービスを推進してまいります。また、障害者福祉については、平成18年度に策定した障害者福祉計画に基づき、地域で自立した日常生活、社会生活が

良事業については、本年度の完成を目指します。

水道事業については、山田水源改修事業と織笠・山田間の耐震管布設事業、柳沢北浜地区の配水管布設事業、豊間根簡易水道の配水管布設事業を引き続き実施します。

廃棄物処理については、21年度から新たに始まる7種類11品目の分別収集による廃棄物の減量化に向け、宮古地区広域行政組合と連携し取り組んでいきます。また、排出する人それぞれが自覚と責任を持ってリサイクルを進めることが重要と考えますので、引き続き資源循環型リサイクルの意識啓発を図ります。人と自然が共生する環境の保

健やかで、安心できる暮らしの実現で元氣創造をめざすまち

病児・病後児保育事業を支援

健康づくりの推進については、循環器検診における肥満者の割合や糖尿病の検査項目での要注意・要医療者が増加傾向にあることから、保健指導を充実し、生活習慣病の予防に努めます。また、子供たちも虫歯や肥満傾向にあり、生活習慣・食習慣の基礎づくりや食育推進計画に基づいた食育事業を推進し、心身

ともに健やかな子育てができる環境づくりに努めます。疾病構造の変化や高齢化によって医療に対する需要は複雑かつ多様化し、診療体制の充実が望まれています。県立宮古病院はもとより、山田病院においても医師確保は懸案事項であり、地域総合病院として十分な機能が発揮されるよう、医師確保を

きるよう支援してまいります。消防・防災対策の充実にについては消防署と消防団の連携を強化し、団員の確保と資質向上に努めるとともに、第1分団の消防ポンプ自動車と消防署の高規格救急車を更新し、石峠地区に防火水槽を築造します。災害有事の際に迅速かつ円滑

な応急対策活動ができる防災関係機関相互協力体制の確立と地域住民の防災意識の高揚を図るため、総合防災訓練の実施や自主防災組織の育成と組織化を推進するとともに、障害者や一人暮らし高齢者などの災害時要援護者の避難支援体制づくりに取り組んでまいります。

手をつなぎ、未来への芽をほぐくみ元氣創造をめざすまち

AEDを全小中学校に配備

近年、個々の生きがいづくりや充実した生活を送るため、生涯にわたってさまざまな学習活動に取り組み意欲を持つ町民が増え、そのニーズも多様化しています。また、学習活動を通して身に付けた知識や技術などを社会生活の中で生かしたいという要望も高まってきています。

情報の提供に努めます。社会教育の充実については、青少年から高齢者まで生涯の各時期に対応した学習機会を提供・支援し、家庭教育学級、ふ

人生を豊かにする生涯学習の推進については、町民一人一人が生涯を通して自分に合った学習機会を自由に選択し、自発的に学習して人生をより豊かにすることが求められています。このため、行政と関係機関が連携・協力して生涯学習事業を推進し、「いつでも、どこでも、だれでも」各種学習機会に接することができるよう、生涯学習



船越小に設置されたAED



すくすく広場の様子

引き続き要望してまいります。子育て支援事業は、支援センターを中心とした育児相談、すくすく広場の開催や子育てサークルの支援などを行っています。が、ホームページやガイドブックなどを通して子育てに関する情報の発信や子育て支援の普及・啓発に努め、山田町次世代育成支援計画に基づく支援事業を推進してまいります。中高生を対象に赤ちゃんふれあい体験事業を実施し、育児知識の向上に努めます。また、本年度より山田町第一保育所で実施される自園型の病児・病後児保育事業を支援します。

絵本を通じて親子の絆とコミュニケーションを深めるため、おはなし広場ボランティアによるブックスタート・絵本の読み

るさと体験塾や女性セミナー、各公民館での各種学級、講座の開設に努めます。児童・生徒の学力向上のため、全小中学校に整備されたコンピュータを活用した情報活用能力の向上に努めるとともに、新学校図書整備計画により学校図書を整備します。また、山田高等学校の魅力ある学校づくりへの支援と中学校と高等学校の交流の促進を図るため、中高連携体制を推進してまいります。学校施設整備については、昨年実施した学校建物耐震診断の結果に伴う小学校5校の補強工事と大沢小学校の体育館屋根補修工事を実施します。また、昨年度小学校3校と中学校2校に配備したAED(自動体外式除

細動器)については本年度小学校6校に設置し、町内全小中学校への配備を完了します。図書館は蔵書展や絵本展などを開催し、鯨と海の科学館は海の体験教室や企画展を実施します。また、図書館の整備については、旧県立山田病院跡地取得に係る県医療局との協議を踏まえながら、内部検討委員会で検討を進めます。スポーツに親しむ地域社会の実現については、今日の社会環境や意識・価値観の変化の中で、健康・体力づくりへの意識の高まりなどにより、ニーズも多様化していることから、町民が気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。また、施設整備については武徳殿トイレを洋式の簡易水洗に、中央公民館2階トイレを洋式に改修し利便性の向上に努めます。



多くの町民が利用する町立図書館

芸術・文化の振興については、町民による自主的な芸術文化活動の一層の活発化を図るため、展示・発表の場である町民芸術祭の開催支援に努めます。町文化財を保存・保護し伝承と愛護思想の普及を図るため、房の沢古墳群の出土品を保存処理し、その活用を努めます。女性を取り巻く環境も変わり、男女の隔てなく活躍の場が広がっています。女性の社会参加が広がっています。女性の社会参加が広がっています。女性の社会参加が広がっています。

国際化の波は国同士の枠を超え地域レベルへと進展し、各地方では特色を生かした国際交流や地域間交流が行われています。本町においても、友好関係を結んでいるオランダ王国ザイスト市とのジュニア海外使節団派遣事業を継続し、これからも広い視野と国際感覚にあふれる人材育成を推進していきます。

国際化の波は国同士の枠を超え地域レベルへと進展し、各地方では特色を生かした国際交流や地域間交流が行われています。本町においても、友好関係を結んでいるオランダ王国ザイスト市とのジュニア海外使節団派遣事業を継続し、これからも広い視野と国際感覚にあふれる人材育成を推進していきます。

事業通じ「結い」の心を再構築

町民が主役の元氣な地域づくりの推進については、昨年度スタートした住民協働推進支援事業で8団体の事業を採択しています。採択された事業には▽高齢者支援事業▽環境整備事業▽世代間交流事業▽自主防災事業▽外国人向け生活のしおり作成などがあり、各自治会の意欲の高さが感じられます。

「結い」の精神を再構築していかねければなりません。行政の制度や政策などについて町民に情報提供を図り、町政への理解を深めながら住民協働を推進するため、まちづくり出前講座を引き続き実施します。団塊の世代の受け入れについては、農林水産業就業希望者への研修制度、移住希望者へ短期・中期体験用宿舎の提供などを町のホームページに掲載しており、今後とも岩手県における移住促進施策の展開と歩調を合わせながら情報提供に努めます。



身の丈にあった、健全な行財政で元氣創造をめざすまち

堅実で効率的な財政運営を推進

平成20年度、国は地方において依然とした大幅な財源不足が生じると見込み、その対策として「地方再生対策費」市町村分2500億円程度を地方交付税に反映するとしています。具体的には見えていませんが、こうした厳しい状況の中、安定的な財政運営については「財政計画2007」と「第8次山田町総合発展計画」を整合させるべく、堅実な施策事業の執行に努め「足るを知る」の精神で必要な財源を確保し、健全で効率的な財政運営を推進します。

また、岩手県地方税特別滞納整理機構との連携、納税相談や実態調査・分析に基づく滞納整理を進め、町税の収納率の向上に努めます。また、「ふるさと納税



制度」の施行に当たっては、ふる里山田同郷の会の皆さまをはじめ町民にゆかりのある方々に対し、制度のPRに努めます。本町の行政改革は大綱を策定し一定の成果を上げてきましたが、今後も集中改革プランにより行政改革を推進します。労働安全衛生法施行令の一部改正によりアスベストの含有基準値が引き下げられ、役場庁舎の町民ホールと階段天井部分の基準を上回ることが判明したことから、除去工事を実施します。国・県事業の導入促進については、国や県、関係機関へ事業促進と本町の課題解決に向け、要望活動を継続します。特に三陸縦貫自動車道釜石山田道路の早期完成について、引き続き国に対して要望していきます。国の発展と水産振興に多大な貢献をされた「水産翁」の称号を授与された「山田町名誉町民」第70代鈴木善幸内閣総理大臣を顕彰する事業に対し、多くの方々からご寄付をいただきました。本年7月には銅像と記念碑が完成する予定です。あらためて感謝を申し上げます。



以上、平成20年度における主要な施策について申し述べてまいりました。

私は、昨年の施政方針において「住民に近ければ近いほど望ましい(ニア・イズ・ベター)」の考えを基調にし、自治体と住民が知恵を出し合い協力し合うことを強調しましたが、住民協働推進支援事業が順調にスタートし、その成果も得られつつあることから、平成19年度を「住民協働元年」と位置付け、さらにその内容を充実していかねければならないと考えております。厳しい環境下におかれている地方に対し、国は「頑張る地方

応援プログラム」地方再生対策費」などの配慮を示しており、「ふるさと納税制度」が平成20年度税制改正大綱に盛り込まれるなど、厳しい冬の時代からわずかではあれ、春の曙光がほのかに見えるかに思われます。多くの懸案事項を抱えながらも希望を持って一歩一歩前進を続けること。その先頭に私が立って、全身全霊を傾注して町政推進に当たりますこととお誓いするものであります。

町民ならびに議員の皆さまの町政に対するご理解、ご協力をお願いし、施政方針とさせていただきます。

平成20年度予算の中身

一般会計

平成20年度の町一般会計予算の総額は、歳入、歳出それぞれ64億1,946万円。前年度当初予算と比べて2.6%、およそ1億7千万円の減となりました。

歳入では、財政計画2007で減少を見込んでいた地方交付税が「頑張る地方応援プログラム」や「地方再生対策費」の新設により、3年ぶりに0.1%の微増となりました。

歳出では第8次総合発展計画の事業を見直したことから、公債費を除くすべての項目が減となりました。

町の財政事情は依然厳しい状況にあります。財政計画との整合性を図りながら第8次総合発展計画を着実に実行し、元気なまちづくりを目指していきます。

■歳入の状況 (単位：万円、%)

歳入		予算額	構成比	伸び率
区	分			
自主財源	町税	117,651	18.3	2.0
	繰入金	60,023	9.4	△17.1
	分担金・負担金	9,065	1.4	△0.6
	使用料・手数料	7,359	1.1	3.8
	諸収入	3,950	0.6	4.5
	財産収入	1,232	0.2	20.8
	繰越金	10	0.0	0.0
寄附金	0	0.0	0.0	
計		199,290	31.0	△4.5
依存財源	地方交付税	284,900	44.4	0.1
	町債	47,020	7.3	△12.1
	国庫支出金	45,388	7.1	9.8
	県支出金	39,338	6.1	△8.1
	地方譲与税	8,100	1.3	△1.9
	その他	17,910	2.8	△10.0
計		442,656	69.0	△1.7
合計		641,946	100.0	△2.6

■歳出の状況 (単位：万円、%)

歳出		予算額	構成比	伸び率
区	分			
民生費		164,051	25.6	△1.1
公債費		110,205	17.2	2.4
総務費		91,761	14.3	△1.8
土木費		86,845	13.5	△2.1
教育費		61,806	9.6	△6.6
衛生費		47,332	7.4	△7.9
消防費		36,729	5.7	△3.0
農林水産業費		24,681	3.8	△14.3
議会費		10,198	1.6	△5.2
商工費		7,738	1.2	△1.5
労働費		99	0.0	△11.2
災害復旧費		1	0.0	0.0
予備費・その他		500	0.1	0.0
合計		641,946	100.0	△2.6

町の全会計

町の平成20年度一般会計予算と各特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額は119億2,186万円です。

ここでは、本年度行われる主な事業を担当課ごとに紹介します。

◆平成20年度各会計の予算額

- 一般会計……………64億1,946万円
- 国民健康保険特別会計……………26億2,931万円
- 後期高齢者医療特別会計……………1億4,565万円
- 老人保健特別会計……………1億7,465万円
- 介護保険特別会計(事業勘定)……………13億3,509万円
- 介護保険特別会計(サービス事業勘定)……………266万円
- 簡易水道特別会計……………8,555万円
- 漁業集落排水処理事業特別会計……………1億4,762万円
- 公共下水道事業特別会計……………4億469万円
- 水道事業会計……………5億7,718万円

※水道事業会計には、収益的支出予算と資本的支出予算の合計額を掲載しています。

総務課

- ◆住民協働推進費……………190万円
住民協働推進支援事業補助金150万円などが計上されています。
- ◆定期路線バス運行委託料……………1,376万円
- ◆広報やまだ印刷費……………620万円



企画財政課

- ◆国土調査費……………1,226万円
- ◆財産管理費……………9,209万円
役場庁舎1階のアスベスト除去工事費や、工事期間中仮事務室として使用する町中央コミュニティセンターの電話設置工事費など、4,577万円が含まれています。

税務会計課

- ◆土地評価替路線価補正業務委託料……………410万円
固定資産税(土地)算定の基礎となる路線価は、3年ごとに見直しを行っています。



お座敷広場(山の内、西川地区)

保健福祉課

- ◆障害者自立支援給付費……………1億9,414万円
- ◆老人保護措置委託料……………1,148万円
- ◆民間保育所運営委託料……………2億8,900万円
- ◆子育て支援事業費……………3,763万円
▷延長保育促進事業補助金…740万円▷病児・病後児保育事業補助金…313万円
- ◆介護保険事業……………13億3,509万円
歳出総額の95.9%を占める保険給付費は12億8,000万円で、訪問介護や通所介護、施設介護など各種サービス費用に充てられます。

地域整備課

- ◆道路維持費……………8,162万円
- ◆道路新設改良費……………8,501万円
- ◆土地区画整理費……………2億3,287万円
▷宅地整地や細浦柳沢線、街路などの工事費…5,252万円▷建物等移転補償費…1億6,126万円
- ◆公営住宅解体工事費など……………612万円
- ◆木造住宅耐震改修助成事業補助金……………180万円
- ◆公共下水道事業……………4億469万円
快適な生活環境と海や河川の水質保全を目的に、船越地区と山田地区で公共下水道事業を実施しています。

水道事業所

- ◆建設改良費……………2億5,648万円
▷山田水源地改良工事費、織笠山田間耐震管布設工事費など…1億9,927万円▷柳沢・北浜地区配水管布設事業費…3,000万円

消防防災課

- ◆宮古地区広域行政組合(消防関係)負担金……………3億596万円
- ◆消防施設費……………2,880万円
消防ポンプ車購入費(1分団)1,700万円や防火水槽築造工事費(石峠地区)、消防屯所補修工事費(3分団)810万円が計上されています。

産業振興課

- ◆いわて希望農業担い手応援事業補助金……………300万円
りんどう苗、栽培用資材、生産管理機械の整備などに対する補助金です。
- ◆しいたけ等特用林産物生産施設整備事業補助金……………250万円
散水施設や乾燥機械などの整備に対する補助金です。
- ◆水産振興費……………1,355万円
「安全で安心できる」水産物を提供するため、各漁協が整備する設備に対する補助金などが計上されています。
- ◆中小商工業金融対策資金利子補給等補助金……………300万円
- ◆工場誘致利子補給補助金……………360万円
- ◆山田の魅力発信実行委員会補助金……………100万円



住民生活課

- ◆国民健康保険事業……………26億2,931万円
国民健康保険は病気やけがに備えて加入者の皆さんがお金を出し合い、病院にかかるときの医療費に充てる支え合いの制度です。
- ◆後期高齢者医療事業……………1億4,565万円
後期高齢者医療制度は75歳以上(重度障害者は65歳以上)の高齢者が、病気になっても安心して医療が受けられる制度です。
- ◆岩手県後期高齢者医療広域連合負担金……………1億181万円
- ◆塵芥し尿処理費……………2億5,906万円

選挙管理委員会

- ◆町長選挙費……………1,155万円
- ◆海区漁業調整委員会委員選挙費……………251万円

教育委員会

- ◆小学校管理費……………1億9,187万円
学校施設耐震改修工事費や大沢小屋根改修工事費など8,582万円が計上されています。
- ◆中学校管理費……………5,517万円
スクールバス運行委託料1,213万円などが計上されています。
- ◆人づくり事業費……………870万円
ジュニア海外使節団派遣事業の旅行業務委託料、国内外研修事業補助金などを計上しています。

ほのゆめ



とりい あさひ くん
(大沢保育園・5歳)

大きくなったらカキの仕事をしたいな。お父さんたちと一緒にいっはいかきをとって、みんなにあげるんだ。



山田よいとこ好きな町 (11)

お不動さん奥の院カッチから山間の曲がりくねった道を川沿いに下れば関口の里に出る。ここにお不動さん関口神社がある。仏の不動明王がなぜ神社なのか——。それは奈良時代に始まった神仏混淆を明治初年に廃止して、神仏分離令を発令したことにより、各地の寺や仏像などが棄却された。それを避けるため、仏を神として祭り関口神社としたのであろう。そして近郷近在の多くの人々に信仰されるようになった。不動明王はご承知のように、右手に剣を、左手に羅索（これですべての衆生を受け入れて救う）、背中に大火炎を、悪魔を降伏するため忿怒の相をしたお顔で見た目がとても怖い仏様だ。しかし大日如来の化身とされる。ところが役小角の創建で、修験者の寺である奈良吉野山にある金峰山寺の不動明王のお顔の寺である奈良吉野山にある金峰山寺の不動明王のお顔はニコッと笑っておられるそう。やはりお不動さんって優しい仏さんなんだと知り、心安らいた。梵語（サンスクリット）でお釈迦様をゴータマ仏陀、お不動様はナマサマンダバサラナンととなえる。

関口お不動さんの祭りは多く参拝者が楽しむお祭りだ。私も大ファンで幼いころからご縁日にはよくお参りしたものだ。祭り好きな私は年老いた今も祭りの日が待ち遠しい。戦時中には出征兵士の武運長久を祈りに宮古、釜石をはじめ遠く内陸部の町村からもたくさんの参拝者が訪れたのだ。ところで、お不動さんのお宮に向かって左側の裏奥にコンクリートの台があり、一本の剣が立っている。その剣に「村の者、争うことなかれ」と刻まれてある。これは、知る人ぞ知る村内の争いを仲裁なさった伊藤澍甘さんの戒めの剣といわれている。南の国、薩摩の西郷隆盛は「南州」、北国岩手の伊藤澍甘さんは「奥州」、私は「山田北州」。いずれも藤原朝臣と名乗る。ちょっと書き過ぎたかな？ (つづく)

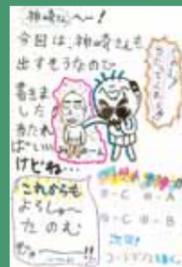
ペンネーム・山田北州 (山田・87歳)

待望の善幸像建立 誇らしく

私たちの郷土が生んだ先人、漁民宰相の鈴木善幸先生を顕彰する事業の一環として、町民待望の銅像および顕彰碑の除幕式が今年海の日に合わせて実施されるとのことに、町民の一人として誇らしく感じている。

「和の政治」をモットーに政界を歩んだ先生は、やはりどこか東北人らしさがうかがわれる重厚さと実直さを持ち合わせており、その人柄に私たちは日ごろから敬服している。また、善幸さんが政界を志したのは目の当たりに襲った昭和8年3月3日の大津波の被害を目の当たりにしたからだと聞かされている。県内陸部はもとより、特に三陸沿岸部をあの津波から復興させた業績を私たち県民は終生忘れることはできない。

善幸像に付随して記念館建設や記念行事として昆布養殖などをテーマにした町民劇場「浜の夜明」の上演も企画中とのことで、「鈴木善幸元内閣総理大臣を顕彰する画会」のご配慮に感謝したい。またこの顕彰事業成功の背景には町長はじめ関係スタッフの並々ならぬ努力があったことを私たち町民は常に心に秘めておきたいものだ。齋藤忠雄 (船越・?歳)



姫神 (12)



富山百恵 (10)



佐々木亜梨香 (16)



甲斐谷紗良 (10)



湊としき (10)



そふいあ (13)



稲川孝太郎 (?)



クフフ♡クフフ♡クフフ♡
キャハ♡♡♡クフフ!



TOCCHI (14)



そふいあ (11)



Add (15)



31 アイスクリーム (16)



神崎 (12)



たまくろー (12)

彼岸の中日に心癒やす曲

春分の日、木々の芽吹きを吸いながら自転車で龍泉寺にお参りに行った。境内に入ると心安らぐ曲が流れていた。お堂のお釈迦様に香を手向けてから茶の間に…。寺族さまに曲名をお聞きしたら、曹洞宗の仏教曲と聞かされた。人間にしかない「でこぼこ」だらけの心に栄養たっぷりの曲で…。心癒やされた彼岸の中日であった。合掌。

菊地サカエ (織笠・73歳)

やまだ文芸広場

春めいて庭の雑草が気になり
いつも花の芽のぞき見してる

大町テイ子 (大沢・?歳)

亡き母に唱える詠歌のかなしさよ
娘の通る道なればこそ

大川ヒメ子 (大沢・63歳)

春浅き川辺に咲きし杯に
女神酒くむおおいぬふぐり

菊地孝進 (船越・86歳)

鯨館 鯨も冬眠おらが町

佐藤兼男 (荒川・81歳)

としふりし姿あわれや認知妻

ペンネーム・山田北州 (山田・87歳)

◆投稿規定 ▷住所、氏名、年齢、電話番号を明記。ペンネーム、匿名での掲載を希望する方はその旨をさらに付け加えてください▷住所、氏名が記入されていないものは掲載しません▷営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載できません▷投書を添削することがあります。
◆あて先 〒028-1392 (住所不要) 山田町役場総務課情報管理担当へ。



今月の題字
こうちろう
中村 紘一郎 君
(豊間根小5年)

町のわだい

放課後児童クラブの交流会 おもちゃ作りの楽しさ学ぶ

3月8日、町放課後児童クラブの交流会が開かれました。県立児童館「いわてこどもの森（一戸町）」が主催する地域巡回事業の一環として行われたもので、会場となった町中央コミュニティセンターには放課後児童クラブの児童27人が参加しました。参加した児童はいわてこどもの森職員の指導を受けながら「どんぶりカー」や「けん玉」など4種類のおもちゃ作りに挑戦。けん玉作りでは、紙を円すい型に丸めたものにプラスチックのカプセルとゴムをつなげて好きな模様を描くなど、おもちゃ作りの楽しさを学んでいました。



山田高吹奏楽部が訪問演奏会 園児と音楽通じた触れ合い

3月8日、山田高校吹奏楽部（佐々木舞子部長・部員19人）が中央保育園を訪れ、演奏会を行いました。部員の技術向上を兼ねて毎年町内の保育園や老人保健施設などで開催しているもので、この日は部員19人が同園を訪問。楽器の紹介やハンドベルの演奏に続いて童謡メドレーや人気テレビアニメの主題歌などが演奏され、園児たちは手拍子を打ったり、曲に合わせて歌ったりしていました。このほか、園児と部員との合奏も行われ、園児たちが部員の奏でる曲のリズムに合わせてカスタネットや鈴を鳴らすなど、一緒に音楽を通じた触れ合いを楽しんでいました。

県選抜野球に山田中3人出場 本県チームが準優勝に輝く

第7回東北中学校選抜野球大会に山田中3年の山崎有貴君と阿部優紀君、佐々木康仁君の3人が本県選抜として出場しました。大会は3月15日と16日に仙台市で開催され、東北各県から8チームが参加。本県チームは初戦から順調に勝ち進み、決勝で秋田県選抜と対戦。結果、惜しくも敗れましたが、見事準優勝に輝きました。各県の選抜チームと対戦し、高レベルの試合を肌で感じた3人。山崎君は「意識を高めてこれからの練習に取り組みたい」、阿部君は「全国で通用するピッチングを目指したい」、佐々木君は「大会で学んだことをチームに伝え、全国レベルを目標に頑張りたい」と意欲を燃やしていました。



本県選抜チームとして出場した皆さん。写真左から山崎有貴君、阿部優紀君、佐々木康仁君

全国小・中学校新聞コンクール 大沢小「海よ光れ」が全国3位

毎日新聞社などが主催する第57回全国小・中学校・PTA新聞コンクールで、大沢小学校（佐々木由美子校長・児童154人）児童会執行部が制作する学校新聞「海よ光れ」が毎日新聞社賞を受賞しました。同コンクールの小学・学校新聞の部には全国から1,086点の応募があり、大沢小は平成19年4月から12月発行分を出品。審査の結果、同紙は全国3位となる毎日新聞社賞に輝きました。前児童会長の福士泰佳さん（6年・現山田中1年）は「2年連続で入賞はできないと思っていたので、とても驚きでしたがうれしかったです。中学校でも新聞づくりをやってみたい」と受賞の喜びを話していました。



県の「地球温暖化を防ごう隊」 船越小が県知事表彰受ける

3月12日、県が実施する「地球温暖化を防ごう隊」で船越小学校（佐藤健三校長・児童205人）の取り組みに対し、県知事表彰が贈られました。これは子供たちに環境について考えてもらおうと実施されているもので、同校では5・6年生68人が夏休みと冬休みの間に1週間ずつ電気の節約やマイバッグ運動などに取り組みました。佐々木かな子さん＝写真左＝と大畑憂依さん（ともに6年・現山田中1年）は「身近なことでも地球温暖化の防止につながる事が分かりました。中学生になっても続けていこうと思います」と話していました。

大沢出身 鈴木さんの卒業制作映画上映会 三鉄とともに暮らす人々の姿描く

本町大沢出身で日本映画学校映像科（神奈川県川崎市）3年の鈴木宏子さん（21）らが卒業制作で作ったビデオ映画「おらほの鉄道～三鉄沿線奮闘記～」が完成し、3月13日に上映会が行われました。会場となったふるさとセンターには60人が来場。上映に先立ち鈴木さんが「地元の皆さんの協力のおかげで、この映画を完成することができ、大変感謝しています」とあいさつしました。この映画は三陸鉄道をテーマとし、沿線で暮らす人々の様子や同鉄道にける地域住民の思いを伝えた約45分の作品となっています。上映が終わると、来場者からは「三陸鉄道の大切さを見直すきっかけになった」と惜しい拍手が送られていました。



ふるさとセンターで行われた上映会の様子（上写真）／写真左から撮影・録音担当した西信好真さん、企画・演出を担当した鈴木宏子さん、音楽を担当した松山レオさん



4月1日付

町職員の人事異動

◆**総務課** ▷課長(地域整備課同) 福士豊▷課長補佐・行政チームリーダー(地域整備課同) 里館誠一▷住民協働推進室長・文書情報防災チームリーダー(保健福祉課課長補佐) 尾形英一▷主任(住民生活課同) 佐々木勝吉▷主任(税務会計課同) 佐々木文明◆**企画財政課** ▷課長補佐・企画チームリーダー兼電算チームリーダー(住民生活課上席副主幹) 豊間根和博▷課長補佐・財政チームリーダー(税務会計課同) 佐藤義雄▷上席主査(同課主査) 古館隆▷副主幹(水道事業所上席副主幹) 糠盛勝彦◆**税務会計課** ▷収納対策主幹兼収納対策室長(産業振興課課長補佐) 福士丈二▷課長補佐・課税チームリーダー(企画財政課同) 川村均▷上席副主幹(豊間根支所支所長) 佐々木千恵◆**産業振興課** ▷課長兼農業委員会事務局長(企画財政課課長補佐) 宇澤正二▷水産振興主幹(同課主幹兼課長補佐) 内田明▷課長補佐・水産チームリーダー(同課上席副主幹) 伊藤勝幸▷課長補佐・商工観光チームリーダー(企画財政課上席副主幹) 鈴木隆康▷上席主査(地域整備課主査) 佐々木真悟◆**住民生活課** ▷課長(産業振興課同) 昆和章▷課長補佐・総合窓口チームリーダー兼住民記録チームリーダー(同課課長補佐) 阿部敏博▷課長補佐・生活安全チームリーダー(同課上席副主幹) 中村剛▷上席副主幹(産業振興課同) 菊池利博▷上席主査(保健福祉課主査) 木村庸助▷副主幹(保健福祉課同) 藤井憲郎▷副主幹(地域整備課同) 関民子▷主任保健師(保健福祉課同) 濱登新子◆**保健福祉課** ▷課長(総務課課長補佐) 佐々木義伸▷児童専門員(織笠保育園園長) 上野美智子▷課長補佐・高齢者福祉チームリーダー兼地域包括支援センターチームリーダー(住民生活課同) 菊池清文▷課長補佐・福祉チームリーダー(総務課住民協働推進室長) 関清貴▷課長補佐・保健チームリーダー(同課課長補佐) 桜井俊雄▷上席副主幹(地域整備課同) 関晃▷上席管理栄養副主幹(同課管理栄養副主幹) 吉嶋和子▷上席保健主査(同課保健主査) 菊池ひろみ▷主任(総務課同) 佐々木幸博▷主任(住民生活課同) 佐々木由美子▷主任(住民生活課同) 大川修一◆**地域整備課** ▷課長(税務会計課収納対策主幹) 柏谷明久▷課長補佐・建築住宅チームリーダー(同課課長補佐) 芳賀俊明▷課長補佐・土木チームリーダー(同課上席技術副主幹) 阿部秀一▷課長補佐・都市整備チームリーダー(同課上席技術副主幹) 竹内幸司▷上席主査(同課主査) 白土靖行▷上席技術副主幹(同課技術主査) 澤山満▷上席技術主査(同課技術主査) 佐々木政勝▷副主幹(税務会計課同) 福士優子

▷主任(総務課同) 野口伸▷主任(農業委員会事務局同) 志和一実▷技師(同課主事補) 坂本大弥◆**岩手県後期高齢者医療広域連合派遣** ▷主事(住民生活課同) 武藤美奈子◆**豊間根支所** ▷支所長兼豊間根公民館館長(監査委員室室長) 豊間根悟◆**轟木児童館** ▷館長(船越保育園園長) 佐々木マサ子◆**船越保育園** ▷園長(さくら幼稚園同) 花坂栄▷上席保育主査(織笠保育園保育主査) 長嶺美代子▷主任保育士(さくら幼稚園主任教諭) 鳥居弥寿子◆**織笠保育園** ▷園長(轟木児童館館長) 川端京子▷主任保育士(船越保育園同) 山崎智子◆**大浦保育園** ▷園長(船越保育園上席保育副主幹) 前川美津江▷上席保育副主幹(織笠保育園同) 豊間根よね子◆**水道事業所** ▷所長(保健福祉課課長補佐) 舟田春樹▷上席主査(産業振興課主査) 甲斐谷芳一▷主任(産業振興課主事) 山崎公生◆**議会事務局** ▷事務局長(企画財政課課長補佐) 阿部利行◆**監査委員室** ▷室長(保健福祉課課長補佐) 佐藤吉正◆**教育委員会事務局** ▷教育次長(同局教育次長補佐) 菊地新一郎▷教育次長補佐兼学校教育チームリーダー(水道事業所上席副主幹) 甲斐谷義昭◆**農業委員会事務局** ▷主事(保健福祉課同) 昆省吾◆**さくら幼稚園** ▷園長(同園上席教諭副主幹) 里館啓子▷上席教諭副主幹(わかば幼稚園上席教諭主査) 福士美奈子◆**わかば幼稚園** ▷上席教諭副主幹(大浦保育園上席保育副主幹) 佐々木真由美◆**校務員** ▷船越小学校(織笠小学校) 田代修三▷山田北小学校(大浦小学校) 岩浅喜美子▷織笠小学校(轟木小学校) 中嶋るみ子◆**消防防災課** ▷課長・小林一彦▷上席主査・福士勝▷上席主査・多田寛▷上席主査・外館義博▷上席主査・山崎幸助▷主査・福士清▷主査・佐々木匠▷主任・佐々木栄一▷主任・野崎益弘▷主任・笹原正▷主任・野田剛▷主任・塩越健二▷主事・大久保貴幸▷主事・上山勝◆**新採用** ▷税務会計課主事補・黒沢和也▷税務会計課主事補・佐藤肇▷住民生活課主事補・角田廉子▷住民生活課主事補・佐々木剛▷産業振興課主事補・蛇石準哉▷産業振興課主事補・藤岡高昌▷地域整備課主事補・花崎和博◆**退職《3月31日付》** ▷総務課課長・横田隆志▷住民生活課課長・五十嵐秀一▷保健福祉課課長・山本誠▷水道事業所長・佐々木隆義▷議会事務局事務局長・箱石順▷教育委員会事務局教育次長・澁谷力▷住民生活課課長補佐・阿部照實▷保健福祉課児童専門員・鈴木洋子▷税務会計課上席副主幹・佐藤可気彦▷保健福祉課上席保健副主幹・湊ミヨ子▷大浦保育園園長・宇部洋子▷山田北小学校校務員・佐々木マイ子▷荒川小学校校務員・山屋勇雄

◆特定健診の対象外となる人

対象外となる人	必要書類
妊産婦	母子手帳のコピー
刑事施設、労役場などに拘禁されている人	拘禁証明書(刑務所などで発行されるもの)
病院または診療所に6カ月以上入院している人	入院証明書(病院などで発行されるもの)
障害者支援施設、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、指定介護老人福祉施設などに入所している人	在園・在所証明書(入所施設で発行されるもの)

該当する人は届け出が必要

4月から始まった特定健診の対象は40歳から74歳までの国保加入者ですが、対象となる方のうちで左表に該当する人は同健診の対象外となり、届け出が必要になります。

該当する方は必要書類を持参し、役場住民生活課の3番窓口へお越しください。なお、ご本人に代わり家族の方が届け出をすることもできます。

◆**届出先・問い合わせ** 役場住民生活課医療給付担当(☎8213111内線125)へ。

施設入所者などは
特定健診対象外に

ハーモニー

作り方

【材料（4人分）】

- ・薄切り肉の野菜巻き
豚モモ薄切り肉…4枚 キャベツ…60㌔
ニンジン…20㌔ 片栗粉…少々
しょうゆ、砂糖、水…各大さじ1
- ・ゆで野菜のマヨネーズ焼き
ジャガイモ…60㌔ ニンジン…20㌔
ブロッコリー…15㌔ マヨネーズ…適量

【作り方】

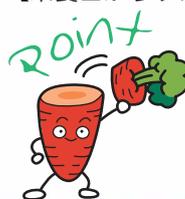
- ・薄切り肉の野菜巻き
 - ①キャベツとニンジンを千切りにする。
 - ②肉を1枚ずつ広げ、キャベツを巻いたものを2本、ニンジンを巻いたものを2本作る。
 - ③②に薄片栗粉をまぶし、油をひいたフライパンでじっくり焼く。
 - ④しょうゆ、砂糖、水を合わせてからフライパンに入れ、水分がなくなるまで煮詰めて完成。
- ※市販のめんつゆや焼肉のたれなどでもOKです。
- ・ゆで野菜のマヨネーズ焼き
 - ①野菜は皮をむいてゆでるか、電子レンジで加熱する。
 - ②アルミカップにゆでた野菜を入れ、マヨネーズをかけてオーブンで少し焦げ目をつけたら完成。

今月から始まったこのコーナーでは、町管理栄養士や山田町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが手軽にできるお弁当や郷土料理、旬の食材を使った料理などを毎月ご紹介します。1回目は栄養のバランスがとれ、簡単に作ることができる「進級おめでとうランチ」です。

進級おめでとうランチ



【栄養士からワンポイントアドバイス】



バランスよいお弁当にするためには、弁当箱に詰める割合も大切。ごはんは全体の半分にきっちり詰め、おかずは残りのスペースのうち3分の1が魚や卵、肉類のおかず、3分の2が野菜や海草、イモ類のおかずになるように努めましょう。

うんめーごっつおー

料理
レシピ

山田の魅力発信実行委員会（阿部幸栄会長）主催の「うんめーごっつおー試食審査会」で奨励賞を受賞した作品を全4回のシリーズでご紹介します。



磯辺茶漬け揚げ

阿部日佐子さん（中央町）の作品

【材料（8人分）】

- ご飯…140㌔ ホタテ貝柱…2個 カキ…4～5個
しゅうり貝(ムラサキガイ)の身…4～5個
焼きのり…1枚 卵白…1個分
ワカメ、小麦粉、あられ、まつも、ふのり、岩海苔、三つ葉、白ネギ、いくら…適量
- ・かけ汁 かつお節…一握り 酒、薄口しょうゆ、塩…適量 水…500cc

【作り方】

- ①ホタテ、カキ、しゅうりをポイルする。
※この煮汁はかけ汁に使用するので、捨てずにとっておいてください。
- ②焼きのりの上にご飯をひき、ホタテ、カキ、しゅうり、ワカメをのせて太巻きの要領で巻く。
- ③太巻きに小麦粉をまぶし、卵白をからめてあられを付け、油で揚げる。揚げたものを8つに切り分ける。
- ④500ccの水にかつお節を入れ、煮立ったらクッキングペーパーでこす。
- ⑤④に①の煮汁を同割で合わせ、再度煮立ったら酒、薄口しょうゆ、塩で味を調える。
- ⑥器にふのり、まつも、岩海苔をひいたら太巻きをその上にのせ、⑤のかけ汁をひたひたになるまで注ぐ。最後に白ネギ、三つ葉、イクラをのせて完成です。



まちづくり出前講座 どうぞご利用ください

町では、町職員が出向いて講師を務める「まちづくり出前講座」を実施しています。同講座は、町で行うさまざまな制度や政策などの情報を町民の皆さんに提供し、広く町政に関する理解を深めていただくことを目的としたものです。

町内に住む5人以上の団体やグループなどであればどなたでも開催することができ、講座の内容は受講する皆さんのご要望に応じて、各担当課の職員が説明にお伺いします。なお、この講座は皆さんの相談や要望などをお聞きするものではありませんのでご理解をお願いします。同講座の開催を希望する方は、開催を希望する日の2週間前までにお申し込みください。

◇開催できる時間 ▽平日：午前10時～午後9時 ▽土曜日：日曜日・祝日：午前10時～午後4時
※開催時間は講座1回につき原則2時間以内となります。

▽開催場所 町内の公共施設や事業所の会議室、学校など（個人のお宅では行いません）

※会場の確保や開催告知など、講座を行うための準備は主催者側で行ってください。

▽申し込み方法 役場総務課、住民生活課、役場各支所に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し提出

◆申込先・問い合わせ 役場総務課住民協働推進室（☎82-3111内線440）へ。

◆担当課と講座のテーマ例

担当課	テーマの例
総務課	町の行政組織、防災、行政改革、情報公開、個人情報保護、住民協働、統計など
企画財政課	町の財政、町の発展計画、町有財産、国土調査など
税務会計課	町税（町民税、固定資産税、国保税）など
産業振興課	農林業の現状、森林の役割、特用林産物、漁業の現状、商工観光業の現状など
住民生活課	国民健康保険制度、年金、ごみの分別とリサイクル、環境問題、地域安全（防犯、暴力追放）など
保健福祉課	健康づくり、健康相談、高齢者福祉、障害者福祉、子育て相談、介護保険の仕組みやサービスなど
地域整備課	土地区画整理事業、下水道事業、道路整備事業など
消防防災課	救急講習会、消火器の取り扱いなど
水道事業所	水道施設の概要
議会事務局	町議会の役割と活動内容
選挙管理委員会事務局	選挙の仕組み、選挙制度など
監査委員事務局	監査委員の役割と活動内容
農業委員会事務局	農業委員会の役割と活動内容
教育委員会事務局	学校教育、町の史跡や歴史、日蘭交流、各種スポーツ講座、鯨と海の科学館体験コーナーなど

住民協働推進支援事業

自治会などの活動に補助金

町では、自治会などの活動に対し補助金を交付します。本年度（4月1日～来年3月31日）に行われる事業の申請の受け付けを行いますので、補助金の交付を希望する団体は期日までに申請書を提出してください。

▷対象団体 自治会、コミュニティ、自主防災組織、NPOなど（産業団体など営利法人は対象外です）

▷補助内容 審査委員会により事業内容などが審査され、認められた費用の5分の4以内の額が交付されます。※補助金は団体ごとに交付されますが、年間で1団体に交付できる金額の総額には上限があります。対象世帯数により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

▷申請期限 6月30日

◆申請先・問い合わせ 役場総務課住民協働推進室（☎82-3111内線440）へどうぞ。

◆対象となる事業内容の例

項目	対象事業および事業内容の例
地域づくり	地域づくり計画の策定・周知、地域ワークショップの開催、地域性を生かしたイベントの開催など
地域福祉	各種健康づくり運動、世代間交流活動、地元食材を使用した料理教室など
環境衛生	ごみ減量化と適正分別への取り組み、ごみステーションの適正管理、廃棄物の不法投棄監視活動、買い物袋持参運動など
生涯学習・生涯スポーツ	お祭り・盆踊り大会の開催、地域リーダー研修会への派遣など
防災・安全	地域で独自に行う避難訓練、防災資器材の整備、道路の草刈りや除雪、登下校時間帯の地域内の見回りなど
産業振興	地場産品の消費拡大や生産意欲の向上に関する取り組みなど



農業労賃標準額が 改定されました

平成20年度の町農業労賃標準額が次のとおり決まりました。適用期間は4月1日から来年3月31日までです。

◆機械の部

種別	使用機械	単位	標準額	
水田作業	耕起	耕運機およびトラクター	10分 5,800円	
	代かき	〃	10分 6,700円	
	くろめり	くろめり機	1分 50円	
	田植え	田植機	10分以上	6,400円
			10分未満	6,500円
	刈り取り結束	バインダー	10分 7,300円	
	刈り取り脱穀	コンバイン	5分以上	15,000円
			5分未満	17,000円
	乾燥	乾燥機	10分 7,300円	
	脱穀	全自動脱穀機	1時間 4,000円	
転作田草刈り	特に設定なし	10分 5,000円		
畑作業	全般	耕運機およびトラクター	〃 5,700円	
	種まき	コーンプランター	〃 3,000円	
	刈り取り	コーンハーベスター	〃 9,000円	
	牧草こん包	ロールベアラ	1個 1,500円	
共通	牧草ラッピング	ラッピングマシン	〃 1,500円	
			たい肥散布	マニアスプレッター

- 注1 標準額にはオペレーター賃金と燃料費が含まれる。
 注2 湿田の耕起、刈り取り脱穀(コンバイン)は1,000円増し。
 注3 田植え(田植機)は植え付けのみとする。
 注4 刈り取り結束(バインダー)の結束用縄代は、委託者負担とする。
 注5 牧草こん包(ロールベアラ)の基準は1分×1分とする。
 注6 牧草ラッピングはラップフィルム代を含む。
 注7 5分未満の代かきは1割増し。
 注8 もみの運搬費用は10分当たり1,000円とする。
 注9 乾燥は燃料の値下げによっては標準額を下げる。

◆問い合わせ 町農業委員会事務局 ☎82-3111内線239) へどうぞ。

◆人力の部

種別	金額	標準額 (1日8時間)	超過額 (1時間当たり)
水田作業		5,100円	800円
畑作業		5,100円	800円

- 注1 標準額は、1日実働8時間当たりの賃金とする。
 注2 実働時間が1日8時間を超えた場合は超過額を加える。
 注3 畑作業のパートは1時間当たり650円とする。

水田経営所得安定対策

昨年4月にスタートした「品目横断的経営安定対策」が「水田経営所得安定対策」と名称を改め、制度内容が変わりました。

この制度の対象は一定の経営規模(面積または所得)の認定農業者または集落営農組織でしたが、今回の改正により市町村特認制度が設けられ、地域水田農業ビジョンに地域の担い手として認められた認定農業者または集落営農組織であれば、加入できることになりました。

支援内容としては、当年度の販売収入が標準的収入を下回った場合に減収額の9割を補てんする収入減少緩和対策などがあり、米や麦、大豆などが対象です。

加入手続きは4月1日から6月30日までとなっていますので、利用を希望する方は役場産業振興課へご相談ください。

◆問い合わせ 役場産業振興課農業担当 ☎82-3111内線235) へどうぞ。

加入手続きは6月30日まで

町長室から

3月は卒業の季節。今年
 は小・中・高校4校と2保
 育園の卒業式・卒園式に出
 席しましたが、いずれも素晴
 らしい内容でした。不安げ
 な表情で保護者の手に引か
 れ、保育園や幼稚園の門を
 ぐくった子供たち。いま立
 派に成長し、それぞれの課
 程を終えて卒業する姿を目
 の当たりにすると、自分の
 子育て時代を思い起こし胸
 に迫るものがあります▼親
 が子供を育てることは当然
 なことでありますが、実は
 子育てを通じて親も子供に
 教えられることが多いことか
 に多いことか。終わってみ
 て気付くことです。子供と
 一緒に成長してください、
 と私はあいさつの中でお願
 いしました▼4月に入り入
 学、入園の季節を迎えます
 今年もまた多くの児童生徒
 の皆さんが希望と不安を胸
 に新しい生活の一步を記す
 こととなります。それぞれ
 にどのようなドラマが展開
 されるのでしょうか。みん
 な、がんばれ。

山田町長 沼崎 喜一



平成20年町消防演習を開催

平成20年町消防演習が行われます。本年は山田南小学校と大沢漁港を会場に、各種訓練が行われます。皆さんどうぞご覧ください。

▷期日 4月20日(日)

▷訓練の時間と内容

【開会行事】午前8時・山田南小学校校庭 【公開訓練】 分列行進…午前11時20分・県道重茂半島線(県北バス大沢停留所付近から大沢漁協まで) 放水訓練…午前11時40分・大沢漁港 荒川婦人防火クラブによる初期消火訓練…正午・大沢漁港

消防団団員を募集します

あなたの情熱をください——。山田町消防団では団員を募集しています。地域の皆さんの生命・財産を守るため、消防団と共に活動しませんか。入団を希望する方は、最寄の消防団の分団長または団員へ直接お申し込みください。

◆問い合わせ 山田消防署(☎82-3139)へ。

山田湾

アサリ漁を一般開放 潮干狩りを楽しもう

期間 5月1日～6月15日

町内5つの漁業協同組合で組織する共有1号第111号第一種共同漁業権連合管理委員会では、期間を限定し一定の条件付きで山田湾内のアサリ漁を一般開放します。

山田湾全域にはアサリ資源の繁殖保護を目的に「アサリ漁業権」が設定されており、漁業者(組合員)以外の方はアサリを採取することができませんが、一般の皆さんに春の風物詩を堪能してもらおうと、期間や殻長制限などを定めて開放を決定したものです。

次の条件を守り、潮干狩りをお楽しみください。

- ▽期間 5月1日～6月15日
- ▽時間 日の出から日没まで
- ▽使用漁具 くま手、しゃくし ※ジョレンは使用しないでください。
- ▽殻長制限 殻長2寸以下のアサリは採取できません。

◆問い合わせ 共有1号第111号第一種共同漁業権連合管理委員会(山田湾漁業協同組合内 ☎82-3631)へ。

低所得者の介護保険料減免制度

対象となる方は お早めに手続きを

町では、収入が一定以下の方を対象に、介護保険料の軽減制度を行っています。対象となるのは、老齢福祉年金受給者及び老齢福祉年金以下の収入で、一定条件を満たしている人です(下表参照)。

保険料の減額を受けるためには本人の申請が必要となりますので、対象となる方はお早めに手続きを行ってください。

◆問い合わせ 役場保健福祉課介護保険担当(☎82-3111内線163)へどうぞ。

◆介護保険料軽減制度の概要

区分	軽減の対象となる人	軽減の内容
I	1 老齢福祉年金受給者で本人および世帯全員が非課税 2 老齢福祉年金以下の収入で、次の4つの要件をすべて満たし、生活保護を受けていない人。▶世帯全員が住民税非課税▶世帯の年間収入が120万円以下(3人目から1人につき40万円を加算)▶住民税課税者に扶養されていない▶100万円以上の預貯金など一定以上の資産を所有していない一人	保険料段階第1段階の半額の保険料相当額に軽減(年額21,600円→10,800円に軽減)
II	1 災害により著しい損害を受けたとき 2 世帯生計維持者の死亡または長期入院などで収入が著しく減少したとき 3 世帯生計維持者の収入が事業の休廃止、失業などにより著しく減少したとき 4 世帯生計維持者の収入が不漁、不作などにより著しく減少したとき	本来納めるべき保険料段階から1段階分軽減(年額より10,800円を軽減)
III	保険料段階が第3段階で、次の4つの要件をすべて満たす人。▶世帯全員が住民税非課税▶世帯の年間収入が120万円以下(3人目から1人につき40万円を加算)▶住民税課税者に扶養されていない▶100万円以上の預貯金など一定以上の資産を所有していない一人	保険料段階第3段階を第1段階の保険料に軽減(年額32,400円→21,600円に軽減)

固定資産の縦覧 制度のご利用を

町では、平成20年度の土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧を行います。この縦覧制度は、納税者が所有する固定資産（土地・家屋）の価格が適正かどうか判断するために、縦覧名簿によりほかの固定資産の評価額や面積などをご覧いただける制度です。ただし、所有者名や課税内容は見ることができません。

なお、地域ごとの宅地の標準的な価格は、路線価図の公開制度で閲覧することができます。

▷縦覧期間 4月1日～30日
（土・日曜日、祝日は除く）
▷縦覧時間 午前8時半～午後5時半

▷縦覧場所 役場税務会計課
▷縦覧できる人 納税義務者、納税管理人、代理人など
※代理人の場合は委任状が必要となります。
▷問い合わせ 役場税務会計課 資産税担当（内線114）へ。

歯やお口に関する 電話相談受け付け

岩手県保険医協会歯科部会では、4月18日の「ヨイ歯デー」にちなんで、歯やお口に関する悩みに応じる無料電話相談を受け付けます。

▷受付日時 4月18日（金）
午前10時～午後8時
※回答は午後7時以降となります。相談を受け付けた後、折り返し歯科医師が相談者にお電話します。

▷相談電話 岩手県保険医協会ヨイ歯デーテレホン相談係（☎019-651-7341）へ。

4月の町長面談日

▷日時 4月14日（月）
午前10時～正午
▷場所 役場4階特別応接室
※面談希望の人は役場総務課内線413へご連絡ください。

三鉄の通勤定期券 貸し借りが自由に

三陸鉄道では、4月1日から通勤定期乗車券を貸し借りが自由にできる「持参人式」に変更しました。通勤定期の記名人（本人）以外でも家族が休日に利用したり、職場の同僚が仕事で乗車する際に使ったりするなど通勤以外にも使用できます。なお、通学定期やJR連絡の通勤定期は従来どおり本人しか使用できません。

▷問い合わせ 三陸鉄道株式会社（☎62-8900）へどうぞ。

盛岡市でボイラー 技工講習会を実施

▷期日（各回とも3日間）
第1回…4月22日～24日
第2回…5月31日～6月2日
第3回…7月4日～6日
▷時間 午前9時～午後5時
▷場所 岩手教育会館（盛岡市）
▷受講料 18,200円（テキスト代を含む）
▷定員 各回とも60人
▷申込先・問い合わせ ㈱日本ボイラ協会岩手支部（☎019-624-5139）へどうぞ。

福祉人材センター 無料職業紹介事業

福祉人材センターでは、福祉の職場で働きたい方と人材を求めている福祉施設・事業所の懸け橋となる無料職業紹介事業を行っています。来所が難しい方には、郵送による求職登録や電話相談も行っています。福祉に関することは、福祉人材センターまでお気軽にご相談ください。
▷問い合わせ 岩手県社会福祉協議会福祉人材センター（☎019-637-4522）へどうぞ。
※福祉人材センター・バンクが運営する福祉分野の求人情報サイト「福祉のお仕事」(<http://www.fukushi-work.jp/>)もご利用ください。

町の期限付臨時 職員を一般公募

町では、期限付臨時職員を募集します。選考方法は書類審査（履歴書）と面接です。
▷職種 一般事務補助
▷募集人数 1人
▷勤務場所 企画財政課
▷応募資格 町内に住所があり、パソコン操作のできる人
▷賃金 日額5,400円
▷任用期間 5月1日～10月31日
※必要がある場合は、最大12カ月まで期間が更新されます。
▷申し込み方法 役場住民生活課または各支所に備え付けの履歴書に必要事項を記入し、総務課に提出してください。
▷申込期限 4月14日
▷問い合わせ 役場企画財政課 国土調査担当（内線436）へ。

全血献血あります 皆様のご協力を

▷日時 4月10日（木）
午後3時～4時
▷場所 和田工業棟前
▷問い合わせ 役場保健福祉課 健康管理担当（内線161）へ。

青少年の家で自然 体験活動セミナー

▷期日とコース 第1回…4月11日（Aコース） 第2回…4月19日（Aコース） 第3回…4月25日～26日（A・Bコース、登山のみの参加も可）
▷時間 午前9時半～午後3時半（第3回は翌日午前11時まで）
▷内容 Aコース…鯨山登山ほか Bコース…野外活動
▷参加費 第1回、第2回…各100円 第3回Aコース…2,000円 第3回Bコース…2,450円
▷申込期限 第1回…4月8日 第2回…4月15日 第3回…4月18日
▷申込先・問い合わせ 陸中海岸青少年の家（☎84-3311）へ。

まちで出会ったかわいい笑顔

広報クイズ

250

三つの中から正しいものを
選んで、応募してね。

- 平成20年度の山田町一般会計の予算総額はいくら？
①46億1,946万円
②64億1,946万円
③66億1,946万円
- 第57回全国小・中学校・PTA新聞コンクールで毎日新聞社賞を受賞した大沢小学校の学校新聞は「〇よ光れ」？
①海 ②山 ③川
- 平成20年町消防演習が行われるのは4月何日？
①10日 ②20日 ③30日
- 今号の「1歳になりました」に登場している赤ちゃん11人のうち、女の子は何人？
①6人 ②7人 ③8人

【応募方法】 はがきに①クイズの答え②住所③氏名④年齢を明記の上、ご応募ください。全問正解者の中から抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。応募は一人1通です。

【応募先】 〒028-1392（住所記載不要）山田町役場広報クイズ係

【締め切り】 4月18日（当日消印有効）

☆前回の正解は①-B、②-A、③-C、④-Bでした。応募者は31人で24人が正解。抽選の結果次の10人が当せんしました。

山田=武藤道枝（53） 長崎=中村伊吹（10） 飯岡=甲斐谷紗良（10）、松原ななえ（3） 境田町=佐々木碧衣（13） 船越=澤木博絵（16） 織笠=鈴木妙子（45） 大沢=鈴木なな（?） 豊間根=中村久乃（7）、佐々木初男（67）
〈敬称略〉

おめでた・おくやみ

- 2月届け出分（敬称略）
- 〔出生〕（ ）は保護者と性別
- ▷船越 佐々木玲良（敏・女）、山崎星菜（勉・女）、田中結奈（雄太・女）
 - ▷田の浜 佐々木敦幹（正喜・男）
 - ▷大浦 山根優希帆（嘉春・女）
 - ▷織笠 白澤蘭（未来子・女）
 - ▷大沢 三上乃愛（司・女）
 - ▷豊間根 山内心結（美文・女）

- 〔結婚した二人〕（ ）は住所
- 田代硝（川井村）・鈴木慶子（大沢）
 - 中村貴昭（織笠）・沼崎智美（境田町）
 - 斎藤隆利（荒川）・工佳代（北海道室蘭市）

- 〔死亡〕（ ）は年齢
- ▷山田 佐藤ミサヲ（84）、西川チエ（90）、福土ソノ（87）、佐藤哲也（49）、湊キヌ（94）、佐藤光弘（55）、武藤義尚（49）、佐藤マツ（94）
 - ▷船越 花坂正（89）
 - ▷田の浜 白井養吉（82）、加藤マツ（84）
 - ▷大浦 西田孝策（95）、野田多賀子（69）、佐々木浅次郎（85）
 - ▷織笠 佐々木イク子（69）、村上ウメ（86）、佐々木市蔵（96）
 - ▷大沢 鈴木萬一（78）、大川ヒテ（84）
 - ▷豊間根 佐々木テルエ（83）、芳賀マン（81）、松本リチ（91）、山崎ヨシ（81）
 - ▷荒川 佐藤精一（76）

町民のうごき

（2月1日～29日）

- ▷出生……10人 ▷転入……28人
- ▷死亡……28人 ▷転出……35人

- ▷人口…20,069人（今月減25人）
- 男…9,630人 女…10,439人
- ▷世帯数……7,227世帯

◆文才の無さを感じつつ書き続けたピンボケも、今回が最後となりました。広報マンとしてカメラ片手に駆け回った6年間。あまりにも短く感じられますが、取材を通じて多くの人と出会い、多くのことを学びました。広報を支えてくれた町民の皆さん、ありがとうございました。

◆次号からは、わたしと新任の（文）で紙面作りがスタート。どうぞよろしくお願いします。

和 幸



中山 陽
(織笠・勝英・男)



鎌田 海心
(八幡町・雅和・女)



佐々木 真菜
(八幡町・信幸・女)



伊山 百華
(大浦・竜一・女)



荒川 翔
(船越・純哉・男)



※敬称略、()内は地区名・保護者・性別です。



道又 結
(飯岡・城・女)



久保田 心
(大浦・輔・女)



黒澤 沙絹
(船越・宏幸・女)



田森 悠翔
(織笠・教郎・男)



瀬川 さくら
(八幡町・幸介・女)



渡邊 鳳輝
(大沢・強輝・男)

5月31日まで

山火事防止運動月間

火の取り扱いにご注意を

「山火事は 地球の未来も 燃やします」を全国統一標語に、5月31日まで山火事防止運動月間が展開されています。春は空気が乾燥して風が強く、火事の起こりやすい季節。山の緑を火災から守るため、火の取り扱いには十分注意しましょう。